

## 記念館20周年事業 米沢有為会が制作

## 我妻栄のアーカイブ

システム構築は HPで一部を公開  
米沢工高専攻科

米沢市出身の民法学者我妻栄の記念館開館20周年記念事業として、同記念館を運営する米沢有為会(須貝英雄会長)は、我妻の著作や講演資料などをまとめたアーカイブを制作、一部はホームページで公開を始めた。アーカイブのシステム構築は米沢工業高専攻科の学生が手掛けた。

我妻栄に関する資料のアーカイブ制作を手掛けた米沢工業高専攻科の3人  
|| 米沢市・我妻栄記念館



アーカイブは、同記念館が遺族から寄贈を受けた写真や著作、著作原稿、講演原稿など14項目で構成。著作権の問題で、ウェブ上に公開されているのは、我妻を紹介する映像と講演会などの録音音源、写真、辞令などで、原稿類は記念館のパソコンでのみ閲覧できる。同館は2008年から資料のデジタル化を進めており、今回、専攻科情報技術

コースの2年高橋美都理さん(20)、稲田朋弘さん(20)、佐藤謙さん(20)の3人が、アーカイブページのデザインや制作、資料検索システム構築などを行い、ウェブで公開できるようになった。昨年4月から準備を進めていた3人は、「写真のデータを小さくするなどして使いやすくした」「ウェブ上で公開されるページと非公開のページの振り分けが大変だった」と振り返りつつ、「研究者たちが来館した際に活用してほしい」などと話していた。

「我妻民法」として長く認められている。1964(昭和39)年に文化勲章を受章。「我妻栄記念館」は92年、生家を改修して開館した。開館20周年を記念し昨年は、冊子「故郷を愛した民法学者 我妻栄先生」を市内の小学校に配布するなどした。アーカイブ公開は2年次事業として実施した。同記念館の上村勘二館長は「作業はまだ途中なので、引き続き資料をアップしていく。多くの人に見てもらい、我妻先生のことを広く知ってほしい」と話していた。アーカイブは同館ホームページから閲覧できる。アドレスは<http://www9.ocn.ne.jp/~wsakae/>

我妻は1897(明治30)年生まれ。民法全分野をまとめた「民法講義」は、学界や裁判実務に影響を与えた